

市長と語ろう地域懇談会 記録

【日時】平成24年4月24日（火）午後6時30分～9時00分
 【会場】瑞穂コミュニティセンター
 【対象地域】花園町、錦町、新光町、住吉町、瑞穂町、東雲町
 【出席者】43人

担当部	意見・要望などの要旨	回答の要旨
経済部	<p>急に聞いても我々には理解できないことが多い。先ほど7階建のマンションに老人が入ると言っていましたが、どういうマンションなのか？</p>	<p>【中心街整備推進課長】今、予定していますマンションについては、まちづくり会社と協議していますが、基本的には分譲型のマンションを予定しています。その他に、賃貸も考えられると思います。その高齢者マンション的な部分で考えれば、向かいの介護付有料老人ホームが高齢者マンションに該当してくると考えています。（7階のマンションは）健常な方も入れるマンション的なタイプとなる予定です。介護付有料老人ホームについては、一応38戸を予定しています。7階建のマンションについては、2階から7階までの部分ですが、各階で3戸ですから、3戸×6階で18戸の予定です。1階部分については、飲食、または物販などの店舗を予定しています。</p>
経済部	<p>人口が減ってきている中で、逆に市街から過疎の住宅に住まわれている。住宅の不足というのは考えられない。現状のマンションでさえ空きが出てきている。その中で、入るだけのマンションの価値があるのかどうか。医療関係なら分かりますが、まちづくりという理想的な考え方を持って来られたのではないのかなという感じがします。</p>	<p>【市長】先ほど、スライドでお見せしましたまちなか居住の中で、まちづくり会社では、1つは富良野市以外から来る方の募集的なものも考えています。それから、転勤族、例えば金融機関だとかそういう方のお住まいについては貸与する形でお貸しする状況もこれからできて来るだろうと。あるいは、市外から来る方で富良野に住んでみたいという方も結構、現在聞いているところでは、いるという状況ですから、そういう方に買っていただく。この3つの方法でこの18戸というのを確保していきたいというのが、まちづくり会社の考え方であり、市で作る基本的な考え方のまちなか居住に合致すると考えています。今現在、移住関係で</p>

経済部

市長さんに言われたように、「住んでみたいまち」の中で、かなり大きなパーセンテージが富良野市は上がっているのを見ることができます。イメージ的には、非常に魅力あるまち、知名度もあります。ところが実際に中に入ると、説明があったような状況があるのではないかと思います。前にも地域懇談会の時に言いましたが演劇工場の件です。今、盛んに持続性のある市街地の活性化をと言いますが、あの時も下駄を履いて、市民が市街地に集うそういう絶好の場面が演劇工場ではないかと言いました。ところが市の方では、議会でもすでに通っているからと言って、現在地の所に演劇工場が作られた訳です。市の将来像というか、こういう街にしたい、市街地活性化と盛んにおっしゃいますが、そういう見通しの甘さというか。現在、演劇工場が街の中にあれば、例えば、瑞穂に住んでいますが街の中に行ってみようかと思う方が多くなって、商店街の活性化につながるのではないかと思います。市の見通しがどうなのかというのが疑問点です。例えば、駅前開発をし、駅前が利便的になったかといえば、決して前と比べてそんなに良くなったと感じないです。むしろ手狭で駐車場に行っても、いつも満杯です。もうひとつは、市街地の活性化、商店街が衰退しているという話がありました。市街地の商店街の商売の仕方が殿様商法みたいな感じです。私たちが行くのは安くて、品物が良くてサービスが良いというところに行きます。たくさんお金が年金で入るわけではありません。以前、靴を修理するのに

すが、平成18年から現在まで、だいたい市の窓口を通して富良野に移住していただいた方が42組93名の方々が富良野に居住しています。市の窓口を通さずに住んでいる方もいますから、100名以上は富良野・山部・東山・麓郷、こういった地域にも住まわれているというのが実態です。

【市長】今、大変貴重なご意見いただいたと思います。ライターの高橋さんが、ちょうど富良野に来られて昭和56年から「北の国から」が放映されました。そういう状況が1つの大きな舞台になって、市街地に演劇工場的なものがないかというお話が盛り上がってきました。その時に、高橋先生の考えは、自然を主とする状況ですから、市街地でない場所の選定を第一にあげられ、高橋さんの意向を汲んで、現在地の演劇工場の場所に建てられたというのが経緯です。非常に今の状況からいきますと、行政としても、その当時のことを考えますと市街地に持ってくるという状況づくりをしていましたが、最終的にそういう判断がされたというのが現状です。

2点目の駅前の駐車場の問題については、私も大変残念です。昔は市の駐車場がありました。駅前のちょうど線路沿いに市の駐車場がありました。駅前の区画整理事業という中で、土地の配分をやったときに、農業協同組合の状況もあわせて、土地交換も含めた中で行って、残念ながら、市の駐車場が農協の駐車場に変わってしまったということです。今、この問題については、農協の方に申し入れをして、何とか観光客や市民のために、駐車場を再度使用できないかという申し入れをしているところですが、過日残念ながらお応えすることはできないというお話でした。今はそう言っているけれども、これから買い求め、あるいは売る時期が必ず来るかもしれませんので、そういう話を絶たないで継続してつない

靴底修理剤が売っていると聞いて、街の中の靴屋に買いに行き、1枚300、400円で買いました。ところが靴流通センターでは5枚入ったセットが320円で売っていた。その誠意の無さというか、商人としてのモラルというのかそんなものが無い。そういう姿勢でお客さんが来ないと言われても、そういう店にはお客は行かないのではないのか。市街地の活性化はまず、商店の方々がもっと商売に熱心になり、アイデアを出し、そういう商法ではなく、市民のみんなに愛される店作りというのをすることが、まず、第一ではないのかと思う。それから活性化みたいなことをお話ししたら良いと感じます。

経済部

駅東側に住んでいる方が6500人くらい現在います。この方たちが街の中心市街地に行く、交通アクセスをきちんと構えた上で、駅前再開発もそのような形にしてほしいと要望を出したことがあるのですが、全く駅の線路から向こう側には、道路用地とい

でいただくようお願いをしているところです。

3点目の商売の人の考え方ですが、今話を聞きましたけど、富良野の2代目3代目は残念ながら、少し努力が足りないのではないのかと、そんな感じがします。既存の商店を圧迫するような大型店舗が富良野に入ってきました。大型店舗には、ほとんどテレビから何から全部生活用品があります。個人商店では太刀打ちできないというのが現況です。それを上回る努力をするということになれば、商店の人はそういう物以外の物で、人を引き付けるような商売をしないと、なかなか今お話のあったような状況にはつながって行かないのではないのかと感じます。今現在、行政で中小企業の振興策の見直しをしました。30%以上の(商店街の)方々の状況づくりをどうするか。新しい人を他から入れたいということで、改造費、家賃、金融機関の借り入れの金利の負担を市で持ちましょう、あるいは、現在富良野にいて商売をするという方に対しても、中小企業の振興策を活用していただこうと、5月からそういう状況づくりをしたいと思っています。山部の市街も該当させる状況にしてあります。今現在、10件ぐらいたいという人が出てきましたので、今お話のあった老舗の人と新しい人と交互に代わるような状況づくりが今年から生まれてくると感じています。今ご意見をいただいた問題については、行政も少し遅かったのかも知れませんが、商圈商業動向調査を行って、現実的な状況が分かりましたので、今年から積極的にこれらのものに対応していきたいと考えています。

【市長】20年前から、この問題は課題となっています。

一つは、最近の傾向としては、市長に就任してから行ったことは、北2号から道道を通して、本通につながるような状況の中で、道費でそういう形ができないのかという運動展開をしてきた経

うのは1㎡も見積られていない。実際に駅東側の人たちがまちづくりや駅前再開発に全く参加させていただけなかったということが、大変な手違いだったのではないかと感じています。街の中を活性化するというのは、観光客ばかりではなく、現在ここに住んでいる人たちが1日1回は、街の中心街を通るようなそういう交通アクセスを作っただけであれば良いと考えています。

こども園についても、父兄の方々がそういう交通アクセスの便利なものができれば、そんな無下に反対することも無かったのではないのかなと考えていますので、よろしくをお願いします。

経済部・
保健福祉部

こども園のことですが、建設候補地A・B・Cの中で、行政側はどちらかと言いますと東4条街区ということで、選定の理由を先ほどから縷々説明を聞きました。私も十分にそれは理解できますが、反面、お子さんを持っている方の視点から見ると、また違

緯があります。残念ながら、去年、道の財政では実際に現況では難しいというお話になりまして、停滞しているという状況です。基本的には、その要請はまだ残っているという形です。

もう一つは、今お話のありました駅前と駅東側の関係で、6千人から7千人くらい駅東側に住んでいますから、住んでいるお年寄りも含めて、どういう交通手段で街場へ運べる状況が作れるか。これから必要になるという判断していますから、これらについては解決方法というのは、たくさんあると私は思っています。バス利用についても、市が出資しているふらのバスなどに、もっと細かく入っていくような状況で、バス運行ができるような状況づくりをしていくことが大事なことだと感じています。また、今、東山で行っているのは、NHKで放送され全国初めてですが、コミュニティバスというものを市が購入しまして、それぞれの地域で病院に来る方を東山の市街地のところまで連れて行き、それからふらのバスに乗り換える。こういう形がとられていて、全国的にも珍しいということで評価をされています。将来路線バスが無くなるような状況になれば、そのまま富良野まで走ってくる状況づくりもできると思います。ですから、市街においても、そういうことを今から想定しながら考えていく必要性があると感じています。この道路（駅東西連絡道路）を付ける計画については、20年前からいろいろ考えて行っていますが、残念ながら、その域まで達していないというのが現況ですが、努力はこれからも継続していかなければならないと考えているところです。

【市長】この問題は、いろいろ今までお話を聞いてきた中で、父兄の方から市議会の方に請願として出した内容については、一つは「交通に危険がある、環境に非常に悪い」ということが、主体的な内容の請願要請でした。最終報告の中では、理由としてはそ

うのかなと。親御さんが持つ目の視点と行政が見る視点が、テレビ、新聞などを見ると、バッティングしているところや、説明不足があると感じます。その点は、どのようにお考えなのかお聞きしたいと思います。

う理由が並べられていましたが、最終的には、一旦この計画を白紙に戻すということが請願の内容でした。あと「環境についての問題、地域住民とよく話し合う」という内容になっています。

現実を考えますと、今までは、中央と麻町の2カ所に分かれていました。これを一つにしなければならないというのが、先程から説明している状況です。あとは場所だけの問題で、将来10年15年経ったときに、こども園の存在価値というのが、どう変わっていくかというのは、人数的に増えていきませんので、減っても増えることは、なかなか難しいという考え方で捉えています。

商店街との話し合いの中で、こども園を持っていても、お母さんやお父さんたちの買い物を、今の状況では当てにしていけないと言います。ただ、賑わいを求めることで、他の人が市街地に入ってくる状況づくりをしてくれるというお話がありました。ですから、こども園を行うことによる目的は、賑わいを求めて、市街地の活性化の中に一役買ってもらうというもの、大きな役割になると感じています。そして行政としては、そういう危険性や環境のなどの問題は、解決できない問題ではないです。解決できます。解決できないところの問題については、解決するよう、行政の責任で行わなければならない。過日の意見交換会の中でも「死んだ場合はどうするんだ」という質問がありました。これは、施設内であれば、行政が責任をとらなければなりません。行政が運営するということは、それだけの責任を持って子どもを預かるということが使命ですから、そういう意味ではご質問の中に、市としてはそういう状況を解決できるような状況をあわせて、市街地に賑わいを求める形の公共施設として、行政として必要な建物になると考えています。

保健福祉部

こども園の場所ですが、子どもの送迎に賑わいを求めるという

【市長】その考え方も間違っていると否定はしません。富良野に

のは、子どもを育てたことのない人とか、子どもの教育に携わってない大人が言っていることではないかと思います。場所が、大自然の中にあるんですから、そういうところに建てるべきであって、大人や子どもが通るからと言って、賑わうと考えるのはおかしいと思います。

これだけの自然があるということは、全国でも屋久島ついて2番目に環境にやさしいまちとして評価されています。質問で言われたことは、郊外の中に建てて、環境の良いところというお話をしていますけど、富良野はどこに行っても環境は良いです。そこが行政との考え方の違いだと受け止めています。富良野の環境は、どこに行っても悪い所というのは少ないです。過日の意見交換会でも（環境が悪いために体に悪影響が出ているとの）話が出て、明日か明後日に（幸町を中心とした環境の）調査をするように指示をしましたが、環境というのは、その地域に住んでいる人が一番分かっています。富良野に住んでいて「その地域は環境が悪い」というような表現は、私は正しくないのではないかと思います。調査はしますが、あまりその地域だけを指定して「環境が悪い」「厳しい条件下にあるところだから」「事故が起きたら」という理由だけで、公共施設の位置づけの在り方を論ずるのは、あまり好ましい言い方ではないという感じがします。今の言われた意見が間違っているとは思っていません。しかし、富良野の行政を扱う者として、富良野全体を考えた場合に、そういう選択をしなければならぬという状況が生まれてくるという感じがします。

保健福祉部

私の周りでは、こういう意見ばかりなので、賛成する意見というのは、4条商店街の方から出ているとしか聞いていません。子育てする世代にとっては、環境が悪いとは言っていないんですが、今まで麻町保育所だとか中央保育所の近くに公園もありますし、2階建のこども園というのは、子どもは何をするか分かりませんし、2階建てなんて危ないですし、火災が起きた場合など、消防の関係も良くないと思います。

【市長】建物を建てる場合は、確認申請というものを必ず出します。確認申請は、消防関係だとかいろいろな形を包含して確認申請というのが認められます。ただ、でたらめに家を建てて、許可を受けるというのは、今の制度ではなっていないです。今、お話あった問題で、例えば、大都会に行くところほとんどが土地の面積などで2階、3階建てです。視察に行ってきたところの職員の復命書を見ても、2階から3階建てのところで行っているのが、かなり多いです。先ほどご説明しましたが、0歳から2歳児は下の階です。3歳から5歳児は2階で行う分は、エレベーターとスロー

		<p>プを付けるよう今検討しています。「危険性がある」というお話については受けて立ちます。現実的に凶面が出てきた時点で、それぞれお母さんたちと意見交換してもいいじゃないですか。何も隠し立てしながら、決めるということは考えていません。ですから、そういうことを今事業認可の前で、いろいろ話し合いをしていますから、まだ半分くらいしか終わってない段階で「私はこうなんだ」ということは言いませんので、その点を理解していただきたいというのが今の考え方です。</p>
保健福祉部	<p>まあ、これだけ市民から反対意見が出ているのも、考慮していただきたいなと思います。</p>	<p>【市長】今、反対意見ばかり出ているということですが、賛成している人は物を言わないです。</p>
保健福祉部	<p>市長は前に反対とか賛成とかは聞かないと言いましたよね。</p>	<p>【市長】当然です。賛成と反対をわざわざ聞きません。ただ「反対の人が多いのではないか」と言うので、賛成の人は、言葉を発して「賛成だ」という人はいないということです。ずっと回ってきたら結構いました。できるだけ、この意見交換会というのは「賛成」や「反対」を問う意見交換会ではないということも前提にして、お話ししてほしいと思います。</p>
保健福祉部	<p>6千人以上の反対署名が議会に請願された。やっぱりそこらへんを市長も慎重に考えて、まあ先ほどから話がありましたけれども、今の意見も考えていただければ良いと思います。</p>	<p>【市長】私もその通りだと思っています。ただ、私からも言わせていただければ、署名の中で、議会の方は分かりませんが、市に出てきたものは、署名の中身の精査をしています。かなり疑義的なものがあります。それと二重に書いた名簿も上がってきています。これは、今の段階でどうだこうだと申し上げませんが、そういうものが非常に目に付いたということだけお答えしておきます。</p>
保健福祉部	<p>今、中央・麻町保育所より、はるかに狭くなります。園庭自体</p>	<p>【市長】後で保健福祉部長からも説明しますが、園庭については</p>

がかなり狭くなって運動会がそこでできないと。聞くところによれば富良野小のグラウンドで練習とかやりたいと。3歳児から5歳児くらいなら良いですが、1歳児、2歳児を安全にそこまで保育所の先生だけで送迎できるのでしょうか？

600㎡です。今、考えているのは屋上にだいたい700㎡ぐらいの面積が園庭としてとれます。ですから、0歳児から2歳児は、園庭で行う状況がたくさんあると思います。思う存分遊べるという状況であれば、屋上を使った形の中で、700から800㎡ですから、これはかなり広いと思います。下の600㎡と合わせれば1400㎡ぐらいになります。そのような活用をして、運動会の練習については、0歳から2歳までは園庭を使い、3歳から5歳については富良野小学校のグラウンドで運動会を行う。例えば、運動会以外の行事については、遊戯場が295㎡あり、さうとう広い遊戯場になるということですから、それぞれ検討していただき、見れば分かるわけですから、これからそういう状況づくりをしていく。運動会の場合は、富良野小学校で行うべきというのが私の持論です。なぜかと言うと、富良野小学校のあれだけのグラウンドを、富良野小学校の運動会だけで終わらせて、他のものに使わないというのは、野球している場合もありますが、もっと広いそういうところで遊ばせて、雨降ったら今年建てた木の香りのする体育館で運動会を行っても良いのではないのかと考えました。

【副市長】担当部署で、なぜこの園庭が600㎡になったかということも含めて話をさせていただきたいと思います。

【保健福祉部長】現場の保育士と協議しながら、これから建てる部分については、富良野という気候を考えれば、夏期間と冬期間というのがあります。冬期間は、あまり外に出ることは少ないということを考えれば、施設を充実するのが方向性としては正しいという意見の中で、いかにその建物を充実させるかということが基本となっています。その中で2階建てではありますが、建物の（総床）面積としては1770㎡です。麻町と中央合わせても1338㎡しかありません。定員は減って、さらに建物の面積が大きくなる。いかにこの施設を有効に活用されるか、施設の中で子

どもたちが伸び伸びできるかという面積を確保していきたいというのが基本的な考え方です。

どうしても園庭が云々ということであれば、例えば、用地面積が1760㎡で、園庭を仮に倍の1200㎡取ったとすれば、遊戯室を除く面積で考えると、1階部分は560㎡ということになります。中央保育所の面積が遊戯室を除く面積と比較すると499㎡ということで、今の建物よりも1階の面積は、若干ですが広くはとれます。実は先般、「園庭を広く取ってほしい」「現状の建物でも全然苦勞はしません」「今の建物で結構です」という話がありました。そうすれば、今の面積よりも麻町でも遊戯室を除けば513㎡ですので、560㎡となるとそれよりも広いという形になります。遊戯室を2階に持っていけば、そのまま295㎡がとれる。さらに2階で、この560㎡と295㎡の差をさらに有効活用しようと思えば、建物そのものは1120㎡までとれるということです。

こういう方法が一つ言えるのと、2階建て、あるいは屋上の有効活用を考えれば、ある内地の大学教授からご紹介を受け、2カ所視察をしました。その中で、1カ所はかなり市の面積もありますが、人口は6万7千人ぐらいです。そこは、平成21年に保育所4つと幼稚園1つを合体させて、認定こども園という形で行っています。この建物は国道のすぐそばにあります。たくさん車が通っているところです。もう1カ所は、市の面積が9km²しかない狭い小さな市です。そこに6万7千人います。土地自体が無い状態になるくらい密度の高いところです。そこにかんりの幼稚園と保育所があります。幼稚園が市立、私立が保育所という形が非常に多いところです。でも公立の保育所ももっています。でも合体させてはいません。でも総合こども園が始まる時にそちらの方が困っていたのは、土地がないために幼稚園と保育園は絶対合

<p>保健福祉部</p>	<p>3歳児から5歳児が今中央・麻町保育所を合わせて何人ずついるのか。幼稚園と保育所では管轄が違います。保育所は厚労省、幼稚園は文科省。保育士、幼稚園教諭の資格も違います。それを今後どうしていくのかお聞きしたいのですが。</p>	<p>体させて、総合こども園にしないと国からくるお金が入らないので、嫌でも合体しなければならない。そうすると、2階建3階建にどうしてもしなければならないというのがあります。先にお話しした方は、もうすでに2階建も考えています。財政の状況も含め、土地の有効活用というところに例を置いてお話ししました。二つ目のところは、民間ですが2階建てのところがあって、2階に園庭を作ってそこで運動会を行っているというのが実態です。そんなことを参考にしていただけたら良いのかなと。今後、土地の有効活用や財政的なことを考えれば、2階建の方がこれから主流になっていくのではないかとそんな気がしています。</p> <p>【こども未来課長】中央と麻町の3、4、5歳児の今の入所の数ですが、今、手元に数字がないです。</p> <p>現在は、保育士と幼稚園の先生（幼稚園教諭）に分かれています。今度新しいこども園になると、「保育教諭」という名称になります。その場合に、保育士と幼稚園教諭の2つの資格が必要になりますが、5年ほどは暫定的な経過措置を設けると書かれています。現在、富良野市の保育所では24人中13人は幼稚園教諭を持っているというような状況ですので、幼稚園教諭を持っていない保育士の取り扱いについては、これから具体的にっていくというような状況です。</p>
<p>保健福祉部</p>	<p>例えば、3歳までは保育所に入れて、それ以降は幼稚園に入れる。今、幼稚園で就園奨励金というのがありますよね。こども園になったら、どうなるのかそういう関係で聞きたかった。</p>	<p>【こども未来課長】文科省が管轄している部分と厚労省が管轄している部分で、さまざまな今言った就園補助金だとか交付金の資金が違います。今、国が考えていることですが、そうしたことをすべて「子ども子育て包括交付金」という形で対応したいと考えています。それも今、国の方では消費税問題がいろいろとあり、その消費税が今の国会を通るならば、その財源を有効に活用しな</p>

経済部

あまり詳しく知らなかったので、今日は勉強させてもらいたい
と思い、いろいろとお話を聞きました。市長が推進し実現したい
と思って頑張っている。また、それに対して、場所が良くないと
真剣に頑張っている方の中で、一番良い形がどれなのかというこ
とになると思います。

ただ最初に、反対されている立場の方で、先ほど言われた方の
話の言い方というものに年配の者として不満があります。それは
「子どもを育てたことの無い、今育てている立場にない者がこの
計画を立てて、それを実現しようとしている」という話が最初に
聞かされた訳です。これはとんでもない話ではないかと。あなた
は誰に産んでもらって育てられて今があるのか。そういう自分の
立場をわきまえていない話し方ではなかったでしょうか。今この
計画を練られた方々は、戦後の苦しい社会を生き抜き、厳しい生
活の中で子育てをし、そして現在のこの豊かな社会をつくりあげ
た親たちのもとで、また自分たちも親になってきた。その親の子
どもたちが今子育てをしている訳ですよ。みんな子どもを産
み、育ててきた先輩たちであるということをお話されて発言され

がら子ども子育て包括交付金として何らかの形で市町村に一括
交付金として入って、それを各施設の方に配分するようなそのよ
うな検討も現在国でしています。

【副市長】他のところ（懇談会）でも出ましたが、幼稚園を経営
している方が、総合こども園できると、民業を圧迫するという話
をされました。それで、民業を圧迫しない形で、最終的に全部総
合こども園になったときは、同じような形で行わないと、片方だ
けが一人勝ちするという言い方をされていましたが、そういう
ことになると思いますので、それについては対応をそれぞれして
いくという形になると思います。

【中心街整備推進課長】駅前の公営住宅の下にある店舗について
は、チャレンジショップとあって、新たに商売を始めた人のため
の店舗という扱いで、これからきちんと商売が一人前に巣立って
いけるかというところを支援している施設という考え方です。昨
日も話が出ましたが、チャレンジショップなので、1年や2年で
成果が上がるという部分ではないので、少し延長ということも考
えてほしいという意見が出されました。今後そういう部分も含め
て、きちんと将来が成り立つように、こちらも支援していく考え
ですので、そういう理解でお願いしたいと思います。

【副市長】相生商店街を含めた振興会と話し合いをしたときに、
その問題が出ていて、お金をかけて、作って、かなりかけて投資
して3年で出ていかなければならない。本当にそれで良いのです
かという話をされてきました。無機質だということで多少お金を
かけなければならぬ。それが3年でまたすぐに壊さなければなら
ないということで、何らかの検討をしてもらえませんかという
話が出たということをお話させていただきました。

1点目（のお話し）はご意見ということよろしいですね？

<p>経済部</p>	<p>たのかどうか、私は疑問を持っています。</p> <p>聞きたいことが一つあります。駅前再開発事業で建てられた共同住宅の下が店舗になっています。あの店舗状況とこれからの見通しはどうなのでしょう。この計画の中では、それがそのままここには入っているという感じがします。単に店舗をここにもってくるというだけであって、何かあの店舗の構え方は、コンクリートの中に閉じ込められた狭苦しい感じがして、何か感じが良くないと思っています。そういうものを持ってきて、さらに同じようなことをするのかと。どうしてもあそこに共同住宅が必要なのかという疑問です。もし、これがなければ駐車場をずっとそっちにずらして、園庭を広く取れることが出来るのではないかと。今、単純に見て思ったことですが、その辺りはどうなのでしょう？</p> <p>ただこの建物（共同住宅）が、ここにどうしても必要なのか？</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>【中心街整備推進課長】（東4条街区に予定の）商業店舗ですが、駅前のチャレンジショップとは違い、ここの1階にできる部分は、あくまでも公募によって選んで入っていただくという形をとりたいと考えています。まちづくり会社で、どのような店舗経営・配置を含め、儲ける店舗という考え方ですが、そういう儲ける店舗になれるような公募をかけていくと。まちづくり会社が考えていくことになっています。ですから、駅前のチャレンジショップとはちょっと違う形態です。この再開発事業で行う部分については、あくまでも一般店舗と同じ考え方です。</p> <p>【副市長】ちょうどその向かいに再配置される方がいて、向かいに7階建で無機質ということで、少し和らぐ形にほしいということ、行政ではなく、まちづくり会社に対して要望されていた方もいました。ある程度、下地が隠れる形、やさしい形になるということは我々も期待しているところです。</p>
------------	---	--

<p>経済部</p>	<p>ここの地域の商店や施設は、再配置という形で作られるということですね？</p>	<p>【中心街整備推進課長】5条通りに面して、今いろいろな店舗が建っていますが、その店舗を1街区と言われているところに、再配置をしていくという考え方です。2街区側にあった店舗も1街区側に移していくということで、地権者自体の了解の元に行っている部分なので、まちづくり会社と地権者との協議しながら、再配置計画を作っているということです。</p> <p>【副市長】中心市街地活性化基本計画が、ずっと回って来てみなさんに周知されていると思っていましたが、そうでもないということが段々分かってきました。分からないことがあれば、詳しく説明させていただこうと思っていますので、これも含めてご質問いただければと思います。</p>
<p>経済部</p>	<p>7階建て（のマンション）を建てたら、こども園はかなり日陰になりますよね？</p>	<p>【中心街整備推進課長】7階建てのマンションについては、それぞれの店舗の日照、予定しているこども園の部分もそうですが、それぞれ日照を考えた建て方をすることで、計画に反映された日照の問題は、解決していると考えています。</p>
<p>経済部・ 保健福祉部</p>	<p>2点質問があります。まず1点目は、中心市街地の説明で、街中が寂れると郊外にも影響が出るというお話がありましたが、具体的に郊外の方にどんな影響が出るのか教えていただきたい。</p> <p>もう1点は、こども園の建つ場所ですが、保護者としてこども園が適切かどうかは疑問に思っています。富良野市の「富良野市次世代育成支援地域行動計画」を見て、その後期計画があります。その中のニーズ調査で自由に書く欄があり、そのアンケートの中で、屋内施設や雨や雪の日でも子どもを連れて遊びに行きたい、0歳児から小学生もみんな一緒に遊べるような、雨の日でも身体を動かして遊べる施設が欲しいという声があがっているのを見て、私も今まで何回か懇談会に出たときには、屋内公園的なもの</p>	<p>【経済部長】まず一つ目の、中心市街地が寂れると郊外にどんな影響があるかということです。先ほども説明しましたが、中心市街地が寂れるということは、地価が下がる。地価が下がると資産価値が下がり、担保物件も無くなって商売がうまくならなくなる。ということは、人口の減少が加速するということをお話しました。そういうことで、働く場所も段々減るし、税収も減ります。そうすると、郊外のところで今まで行っていたことも、全体の予算のお金が少なくなっていけば、それは我慢してくださいというお話も出てきます。地価の問題についても、商業地というのがその街の一つの基準となっています。そこが下がれば、当然他の郊外の地価も下がってきます。そういうことで今まで資産として持</p>

がほしいですと言っていました。私だけではなく、子育てをする人たちにとっては、非常に必要な要望と言うか、欲しいと思っているものなんだと思いました。市長も街中が賑わうために、子どもの声が必要でこども園が必要ということですが、私も中心市街地の賑わいや活性化というのはとても大事だと思います。富良野で生まれて育っていない私ですが、富良野が大好きなので、ずっと活性化して全国の人たちから愛される富良野市であってほしいと思います。その中心地を活性化するために、こども園ではなくて、屋内公園的な、保育所に入る子どもと保護者だけがそこに立ち寄るのではなくて、全市民や近隣からも遊びに来る素敵な施設ができたらもっと人の回遊ができる。例えば、お昼にお腹が空いたら、マルシェでパンを買うとか、帰りに近所のお店で惣菜を買うとかそんな流れに、私が連れて行くとしたらそうなると思います。こども園ではない施設も、「今はまだこども園が決定ではない」と何度もおっしゃっていただいていたので、再検討するのであれば、そういう声も多数、市の調査であがっていたので、ぜひ無駄にせず検討いただけたらと思いますので、よろしくお願い致します。

経済部・
保健福祉部

ふらっとの1階は、おしゃべりする時に利用していますが、子どもが遊ぶとなれば、それなりの設備があったら良いかなと。0歳児から3歳児だったら、ボールプールとか滑り台とかそういうのがほしいですし、小学生なら、もっと身体を動かすダイナミックに遊べるような、そういう施設を求めて旭川まで行ったりするので、ぜひ富良野にそういう場所があったらと思います。

あとは、地域行動計画の中で、少子化対策をもっとしてほしいという声もあがっていたので、出生率が低下することが懸念されています。子どもが産まれるような対策も書いてあったので、そ

っていたものの価値が下がってしまうということもあると思います。それ以外にいろいろありますが、具体的な例として2つほどお話ししました。

【市長】今お話のあった、子どもばかりではなく、全天候型の施設が市街地にあっても非常に良いということで、私は賛成だと思っています。現在、ふらっとの一番下はがら空きです。残念ながら、商品券の引き換え場所ぐらいの使用で、ほとんど使っていないというのが現況です。そういう無駄な状況づくりは行政としてやるべきことではないです。ですから、空いている場所の活用も、ふらっと全体で少しずつ活用することができないかを検討しながら、今ご意見いただいたようなものの内容を検討させていただきたいと思っています。

【副市長】ご意見としてお伺いしたいと思います。

他の街から来られたとのことで、いろいろなところを見て来られたと思います。提案をしていただいて、行政が井の中の蛙ではなくて、そういうことを聞かせていただいて、少しでも参考にしながら、できることがあればと思いますので、(今後も)ご提案をよろしくお願い致します。

【市長】これからの富良野の在り方というものをご提案いただき、大変ありがたいと思います。

地域にコミュニティセンターがたくさんあります。このコミュ

ちらも行政の方でも何か仕掛けをしていただけたら、もっと子どもの数も増えていくと思います。

経済部

市街地の活性化ということですずっと考えていたのですが、駅前から行くと旧電電公社の長い建物があります。その前に何軒か商店があります。あそこで駅前からの商業の流れや人の流れが切れるので、市では電電公社の建物を勝手にはできないにしても、どんな考えをしているのか、良い方向で解決をしていただきたいと思えます。

ニティセンターをもっと地域で活用する方法を、私はここ1、2年考えています。コミュニティセンターの葬式などの使用も減ってきており、もっと活用するようなことをそれぞれ地域で考えていただくことも一つの方法です。新たに建物を建てるのではなく、現在であるもので、地域で活用できるものと考えていく必要があると思います。今お話がありましたので、地域と行政がどういう使い方が良いのか。瑞穂は、2階があるので、畳が嫌ならフローリングに変えれば良いことです。そういう状況づくりもさらに考えていく必要がありますので、今ご意見をいただきましたので、検討したいと思えます。

【市長】3公社5現業といった時代に、富良野に勤務地が営林署も含めてたくさんありました。そういう状況が無くなって、残ったのは電電公社で、建物だけが残っています。なぜ残ったかと言うと、一部交換手が何年かおり、交換手を置いていたので、他の地域より遅れてしまったというのが一つあります。行政はその当時、あれだけ広い場所ですから、活用できないのかということでも一時、市庁舎を考えたときがありますが、庁舎についてはできませんでした。2階がほとんど機械ですから、機械を動かさないと利用できないということがありました。今は、北海道銀行が一部を活用するような状況になりましたから、機械の部分だけをどうするのかというのが少し残っているという感じがします。今お話があった件については、あの建物は極端に古いというわけではありませんので、行政として、再度当たってみる必要があると感じました。

【副市長】2階は機械という話をしましたが、みなさんの固定電話の機械が入っていて、自動で動いています。その機械が入っているので、動かすのは難しいということで、市の庁舎を考えたと

経済部・
保健福祉部

市長が発言された街に賑わいという思いは、私も同感です。ただ、説明を聞いて胸の中では「よしっ」という理解を得ることはできませんでした。

一つは、出生率の問題も取り上げられ、副市長もご意見として受け止めると言っていましたけど、これだけ富良野の子どもの子育てをどうするのかという議論が起きているときに、どれだけ出生率を上げるかということ、子どもの子育て、教育をどうみんなが守り、育てていくのかという対案を聞きたかったと思います。

私が一番気にかかるのは、この事業を民間主導で行うということです。今はもう、構造改革等々で「民間委託、民間委託」というのがあります。私はもっと行政が責任とリーダーシップを持って、この問題についても取り組んでもらいたいと思います。「子どもが亡くなったときに、責任を持つのは当たり前じゃないか」と市長は言いました。

そこでこの総合こども園というのは、私も深く勉強していませんが、民間の会社が運営から全部できると聞いています。富良野市が総合こども園を作ったときに、受入れから卒園まで、全部そこで働く職員の労働条件も含めて、富良野市が責任を持って行うのですか？どこまで責任を持つのかそこを聞きたい。

それと、東日本大震災から1年が経ちました。富良野にも新たに活断層があると言われていています。そういった状況の中で、2階建てで屋上にも運動場を作る。市長は申請を出して、許可が通れば建てられると言いましたが、東日本大震災は想像する以上のことが起きました。だから、現在の確認申請だけではなく、慎重にそこは対応しなければならないと思います。

きに見せてもらいましたが、無理だという結論に達して、今、道銀が一部だけ使っているということになっているようです。

【市長】大変貴重なご意見いただいたと感じています。

これは仮に建てるという状況で運営することになれば、昨日も麻町で確認という意味で質問がありました。こども園については、市直営で行っていくという考え方を持っています。労働組合と、職員の福利厚生、労働条件といったものについては、常に話し合いをさせていただいて、合意を見ながら過去進んできました。ですから、今ご質問のあった件については、そういうことも含めて、直営で行っていくと考えています。

俗に言う活断層の問題がありました。議会でも、昨年、富良野市の場合は今の状況では、9千万年から2億2千万年ぐらいの間に1回（地震が）起きるような活断層の状況という答弁をしました。十勝岳の爆発がだいたい30年周期ですから、爆発が起きる前提で考えた場合、それによる影響はどのくらいかということは、今の時点では分かりませんが、過去の事例としては、風向きが十勝に必ず行っていますので、被害状況的には、大正の時代、冬に起きて死亡者も出ましたが、土石流的なものは少ないのではないかという捉え方をしています。富良野市の活断層（による地震）は、正確なものではないですけど9千万年から2億2千万年の間の確率ではないかという状況ですので、5から6代が過ぎても、まだ大丈夫という感じを持っています。

耐震の関係で、今、建築基準法では耐震を絶対条件にしています。地震や災害が起きた場合、避難所として学校を指定しています。今年は、東中学校の校舎と体育館を改築する予定です。体育館を改築するときに、停電になった場合の発電機を体育館に設置をします。避難における食べ物の保存も置くような状況を考え

経済部・
建設水道部

今日のこの場は反対だとか賛成だとか取らないと言っていました。先輩たちもこれまで尽力されてこの街を作ってきた。市として約100人近い人を郊外から受け入れているという努力も改めて聞かされました。やはりこの計画には、不安を持っています。ですから、現在子育てをしているお母さんやお父さんたちの立場を考えると、もっと伸び伸びと安全で安心できる場というのは、当然のことだと思っています。

街の活性化については、反対するほどでもないですけども、いろいろ市長から説明があって、少しは納得しました。

建物について、ふらのまちづくり会社に、丸投げするのかと思ったのですが、市長が責任を持つということで、いろいろ説明があっても、建物は総合的にいくらかかるというお金の話が一切出てこないの、すべて国がやるのかなと。市民の税金、市からの持ち出し、恐らくこの説明から20、30億なのか、どのくらいかかるのか見当もつかないですが、金額の話は全然出ていません。当然、受益者負担や我々市民の負担もあると思いますが、ぜひともそれも分かっているなら、説明を加える必要があると思います。まだ、(意見交換会が)半分ぐらいだということなのでお願いしたいと思います。

この関係ではないですが、先日、連合町内会の総会で、市民環境係と文化・スポーツ振興係の職員が、私たちの将来まちづくりのための助言や援助をいただきました。改めて感謝したいと思います。その中で出た問題について、市の公園が何カ所あるのか分かりませんが、錦町公園が夏休み中は子どもたちのラジオ体操で60人ぐらい朝集まります。また、例年、盆踊りを200人規模で開催していますが、トイレが非常に臭い。去年は窓ガラスが割られて、すぐに対応していただきましたが、水洗化の計画がある

て、計画的にそれを進めて行きたい。今、2階建ての富良野市の耐震というものは、全部建物を建てる場合については、公営住宅を含めた全建物について、耐震を重点的に進めたいと考えています。

【中心街整備推進課長】この事業の予算ですが、今後予定しているスケジュールでいくと、国費をいただいている関係で、事業認可申請というものがあります。その後、建物の実施設計というものに入っていき、その中でお金の面(事業費の積算)などが出てきますが、先ほど市長の説明の中で、金額のお話(こども園建設費等)も出ていたと思いますが、今のところ概ね約5億2千万程度で、今計画をしているということです。全体(東4条街区再開発事業)では、事業認可を受けて、実施設計で積算しなければ、はっきりした金額は出てきませんが、今のところ概ね約27億円程度と考えています。27億の中には、今のところこども園のお金(建設費)は入っていません。別に考えています。こども園(建設費)については、国費という補助がありません。この(再開発)事業に乗れば、実施設計だとかそういう部分(公共的共益部分)の補助が幾分ですが、3分の1が国から出てくるという部分がありますので、それも使えたら良いという考え方です。

【都市施設課長】公園のトイレについて、現在富良野市には約84カ所大小含めて公園があります。水洗化は、約10カ所以上は水洗化していますが、毎年2カ所ずつ計画を立てています。今年は、瑞穂公園とすみれ公園です。予算は2カ所をとっているの、来年度以降で検討させていただきたいと思っています。

<p>議会</p>	<p>のかないのかという問題と、遊具が壊れてきて、ペンキも剥がれてきています。子どもたちに危険があるということで、その辺の計画があるのかないのか懇談会の時に市長に聞いてくださいという要望がありましたので、お願いしたいと思います。</p> <p>市議会で白紙になりましたよね。こども園の予算だけが白紙ということですか？他のもの全体について、予算は付いたんでしょ？予算は付いたんだけども白紙になったということについて矛盾があると思うんですけど。</p>	<p>【市長】これは市議会の方の権限ですから、私がああだこうだと言えませんが、議会ではその請願に対して、議会運営委員会を開いて、請願については議会の事案とした。その請願の中身は、「①今回の計画はいったん白紙に戻すこと」「②保護者をはじめ関係者、地域住民と十分に話し合い、総合こども園建設計画を進めること」「③子どもたちが健やかに育める環境づくりを基本にすすめること」というものが請願の3つの内容です。それを議会の議会運営委員会で採択について決定をした。それにもとづいて議会で最終的に日程の追加をしたという形です。今のご質問の、設計予算がこども園の予定という形の中で、こども園の設計と全体の設計額の金額は、承認されたということです。</p>
<p>議会</p>	<p>素人からいうと、白紙撤回ということになれば、当然予算について賛成しないはず。市長の責任ではなく、議員のレベルといたら表現が悪いが、白紙撤回となれば当然予算についても撤回するような気がします。</p>	<p>【市長】議会での白紙に戻すという意味が、我々もまだ理解はしていません。ただ、いったん立ち止まって、そして市民の方々の意見を聞いてくださいというのが、議会の本音でないかと感じています。</p>
<p>議会</p>	<p>では、私の解釈が間違えているのか？</p>	<p>【市長】恐らく、私の言っている方が議会としての形ではないかと。いったん立ち止まって、そしてそこで市民の意見を十分網羅していく。答弁の中では、4人の代表質問、それから一般質問の1人に対して、この問題については全員質問しています。この問題については、それぞれ市民の方々に十分話や意見交換をして、さらに各界・各層の関係する団体のみなさんとも十分意見交換を</p>

議会	<p>今の問題は、市長の言っていることは十分わかります。</p> <p>予算を通しておいて、議会で否決したということは、この整合性ってどうなんだと。議長（のコメント）が新聞に書いてありますよね。こども園ありきではないからこうしたと。僕らはちょっとおかしいと思う。それは市長さんに質問するのではなく、議員の方々がいたら質問したい。</p>	<p>したいという答弁をしていますので、そういう形で進めるということで今日に至るということです。いったん立ち止まるということで、予算の議決がなされたのかと、私は解釈をしています。</p> <p>【副市長】その質問はここでは避けていただいて。</p> <p>議会に署名も一緒に届けられています。その中には、要請事項として、「保育所再建については、今進んでいる総合こども園の計画及び設計作業をいったん停止し、建設場所も含め、保護者・現場保育士・地域住民・子育て関係者を含め、再度話し合いを設け検討し、見直すことを要請します」なんです。恐らく（議員さんは）これを見ていると思うんです。しかしそれが、請願の内容は全然違う内容で上がってきてるんですよ。昨日もお話しましたが、6千名の後ろ盾があると言いましたけど、6千人の方は、白紙委任はしていないですよ。それにも関わらず、ここで（いったん白紙に）変えたのはいかがなものですかということをお話したつもりです。恐らく議会の先生たちは、そちらを見たのだと思っております。</p>
経済部	<p>中心市街地活性化の話は最初新聞で知り、この間連合町内会長会議で聞き、今日で3回目の説明を聞きました。</p> <p>先ほど経済部長が話したように、中心街が下がると全体が下がるという根本はわかりました。ただ、住んでから30年近くなりますが、今までは「駅裏」です。非常に高齢化も進んだ住宅街です。そういう点でいろいろ課題があり、資料を見ると、やっと人口も増えてきて見直されてきたのかなと思いますし、これまでかなり整備もしていただきました。中心街のことは理解度が深まりましたし、駅裏の方も私たちの地域ですから、こちらの活性化もご尽力いただきたいと考えています。</p>	<p>【副市長】（ご意見）ありがとうございました。</p>

<p>総務部</p>	<p>この問題は、新聞によりますとボタンの掛け違いだと理解をしています。そういう点では、連日説明会をしていただいていることに感謝を申し上げて、掛け違いのボタンを元に戻していただき、有効に執行されることを期待したいと思います。議会とのいろいろ複雑な話もあり、わかりづらい部分もありますので、この場の話の糧として、東部地区地域の振興についてもご尽力いただきたいということをお願いします。</p> <p>瑞穂と麻町の中に東小学校と東中学校があります。</p> <p>京都で児童に車が突っ込むという事故がありました。あれは、子どものせいじゃなくて大人のせいです。中抜け通りで、登校時間だけ片側通行で規制していて、何か良い方法はないかとテレビでやっていました。私が率直に考えたのは、時間帯片側通行ではなく、通行止めになれば良いです。縁石を付けても暴走した車はどうにもならないです。</p> <p>我々の地区で、昭和通と東雲通があり、ここは登下校で（児童生徒が）通るんです。ここには時間規制や速度規制がないです。できれば、事故の起きないうちに30キロに制限する。その制限時間は登下校時間に決めて、警察の方もその時間帯は特に取り締まりをしてもらう。東雲通は、朝の通勤の時は車がすごく飛ばして通ります。新光町で家を建てているところがあり、工事の車が東雲通の片側に一日中停まっています。登下校の間も子どもたちが走っていて、いつ車道に飛び出るか分からない。やはり業者に申し入れして、停めないように市で巡回して、特にああいふ（通学路付近の）道路は注意していただきたい。できれば、交通規制。協会病院できるときに、国道237号の信号機に時間差をつけてくれというのもやってもらったし、東雲通も黄金道路に出るところを大きな出口だったが、交差点を整備してもらいました。学童</p>	<p>【総務部長】警察などとの協議をしながら、そのような対処ができるように、方式を模索したいと考えております。</p>
------------	--	---

	<p>道路は事故が起きてからではなくて、起きる前に手を打っていただけのようによろしくお願いします。</p>	
--	---	--